

## 平成22年春季全国火災予防運動

3月1日から7日まで、全国一斉に春の火災予防運動が実施されます。

春は季節風の強い日が多く、市内中小河川のしゅんせつ工事や山田堰などの「川干」と重なるため、ちょっとした不注意から思わぬ大火となる恐れがあります。

放火による火災を防ぐため、家の周りに燃えやすいものを置かないように注意しま

しょう。また、春季には山菜採りなどで入山者も多くなり、たばこの投げ捨て、たき火、火入れなどの不始末で一瞬のうちに貴重な森林を焼失させることがあります。一人ひとりの心がけで山火事は防ぐことができます。

火の取り扱いには慎重に、火災の発生を防止しましょう。



### 3つの習慣

- 寝たばこは、絶対やめる。
- ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

### 4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- 寝具、衣類およびカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器などを設置する。
- 高齢者や身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

お問い合わせは、消防本部予防課（専863-3511）まで

## 人権と女性の時代 ⑨4

### 人権教育シリーズ

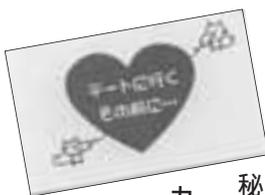
です。好きになり、お互いが必要と感じ交際を始めた二人なのに、支配関係が生まれたり、嫌なことを嫌だと言えずに我慢したりするのは、愛のある関係だと言えるのでしょうか。

「デートDV」の当事者が一番相談しやすいのは、やはり同世代の友人でしょうが、こうしたカードが普及することで、誰もが身近な問題としてとらえ、信頼できる相談先があることを知ってほしいと思います。

「デートに行くその前に…」と記された、名刺サイズのカードを頂く機会がありました。高知女子大学の学生がアイデアを出し、若者の視点で作られた「デートDV」の予防啓発カードだそうです。猫のイラスト付きでなんとかわいらしく、若い皆さんが抵抗なく手にしやすい仕上がりとなっています。カードの作成に携わった同大文学化学部の長妻由里子准教授によると、中高生、大学生などの若い世代でも、交際相手からのさまざまな暴力の実態があるそうです。DV（ドメスティック・バイオレンス）は夫婦間の問題として知られるようになってきましたが、若い世代にも目を向ける必要があります。

カードには、このような例が示され、自己中心的な言動が「デートDV」につながる恐れがあると警告されています。束縛されるのは愛されている証拠、自分が悪いからしかられる…そんなふうに感じている若者が少なくないとも聞きました。親密な間柄ゆえ、望まない妊娠に至る深刻な例もあるそう

### 「デートに行くその前に…」



- \* 気になること・悩みがあれば  
こうち男女共同参画センター  
「ソール」 873・9555
- 高知県県民生活センター  
「PRINK」 873・0022
- 高知県女性相談支援センター  
833・0783
- 女性の人権ホットライン  
0570・070・810まで  
秘密は守られます。

お問い合わせは  
人権啓発広報委員会  
(専880・6569)まで

カード提供  
高知県女性相談  
支援センター